

立原道造の詩による混声合唱曲

- 1 子守唄
- 2 野原に

澤 田 博

composition pour chœur mélangé par
2 poèmes de TACHIHARA michizô

- 1 berceuse
- 2 dans le champ

SAWADA hiroshi

キーワード：日本語，関西アクセント，現代歌曲，

Key Words：Japanese, Accent of kansai-region, Contemporary song

立原道造の詩(=よる混声合唱曲)

1° 子守唄

立原道造・詩

澤田博・曲

Moderato assai (♩=80)

Piano introduction for the lullaby, featuring a piano and bass staff with various dynamics like *f* and *mf*.

Vocal and piano accompaniment for the first part of the lullaby, including Japanese lyrics: ねむれ まぶたよ おまへの おかど

Vocal and piano accompaniment for the second part of the lullaby, including Japanese lyrics: もやに ながれる うすらあか ねむれ ねむれ

立原道造の詩による混声合唱曲

mp f

レづかに ぬむれ

レづかに ぬむれ -

2

f

い きを かぞへて

い きを かぞへて

い きを かぞへて

ゆめを かぞへて

さらさら

さらさらひかる

mf

3

ひかる あさまで

ひかる あさまで あさまで

ひかる あさまで

ま だ たよ い く つ の

ま だ たよ い く つ の

cresc.

Musical score for the first system. It consists of four staves: two vocal staves (Soprano and Alto) and two piano staves (Right and Left Hand). The key signature is two sharps (F# and C#), and the time signature is 4/4. The lyrics are:

上るをこえ ねむれ ねむれ
 上るをこえ ねむれ ねむれ

Dynamics include *mp* and *pp*. The piano part features a triplet in the right hand and a steady bass line in the left hand.

Musical score for the second system. It continues the vocal and piano parts from the first system. The lyrics are:

しがかに ねむれ
 しがかに ねむれ

Dynamics include *mf*, *sf*, and *pp*. The piano part features a triplet in the right hand and a steady bass line in the left hand.

Musical score for the third system. It shows the piano accompaniment for the final part of the piece. The key signature is two sharps (F# and C#), and the time signature is 4/4. The piano part features a triplet in the right hand and a steady bass line in the left hand.

Dynamics include *p*, *pp*, and *cresc.*

起伏は あざやかなみどりとしづんだつちのいろとに
 仰るやかな起伏は あざやかなみどりとしづんだつちのいろとに

いろどられて は いで" いった
 はくさいちまいづつ は いで" いった

わがしは 立ちどまらなかつた わがしは

立原道造の詩による混声合唱曲

p *mf* *f*

かたは(は)の眼で" それを見た 見た *f*
 見た *f* ばか(り)で"
 見た *f*
 見た *f*
 見た *f*
mf
cresc. *f*

f

いつのまにか あゆみすぎて しまつてゐた
 しまつてゐた
 しまつてゐた
 しまつてゐた
 しまつてゐた
 しまつてゐた

f

とどされた わたしの
 とどされた
 とどされた
 とどされた
 とどされた
 とどされた

rit. Tempo I mf

ねる

おまへは

ねる

おまへは

mf

おまへは

mf

おまへは

mf

mf

mf

わたしの

かたはらに立って

ねる

mf

わたしの

かたはらに立って

ねる

わたしの

かたはらに立って

ねる

わたしの

かたはらに立って

ねる

f

f

f

f

f

あの野を

わんが

をがほにかかった

f

おまへにたがねる

あの野を

わんが

をがほにかかった

f

f

f

f

立原道造の詩による混声合唱曲

いしのばしや さきみだれてお た おら - さきの は な の
 いしのばしや さきみだれてお た おら - さきの は な の

こ と を は な の こ と を
 こ と を は な の こ と を

わ た し た ち は

わ た し た ち は い ま た た た ひ と つ の 眼 を 持 っ て ゐ る
 い ま た た た ひ と つ の 眼 を 持 っ て ゐ る お ま の こ と は ば

cresc. *f* *accel.* *a tempo*

あの絵のな かにて かのほ とりで

あの絵のな かにて かのほ とりで

せん の ひ かりに

(sub.)

cresc. *f* *accel.* *a tempo*

(sub.)

p *mf* *p* *rall.*

み た さ れ た

ふ う の やう に

や ほ ら か い

pp *mf* *p*

み た さ れ た

や う に

や ほ ら か い

み た さ れ た

rall.

p

più lento *pp* *div.*

や ほ ら か

や ほ ら か

や ほ ら か

pp

fin

立原道造の詩による混声合唱曲

二 野原に

立原 道造

一 子守唄

立原 道造

眠れ 瞼よ
おまへの向う
霧に流れる うすら明り
眠れ 眠れ しづかに眠れ
息をかぞへて
夢をかぞへて
きらきら光る朝まで
瞼よ 幾つの夜をこえ
眠れ 眠れ しづかに眠れ

くりひろげられた 広い 野原に
私は 夜の明けてゆく おまへの故郷を見た
ゆるやかな起伏は あざやかな緑と
沈んだ土の色とに 色どられて 薄紗を一枚つつ剥いで行つた
私は 立ちどまらなかつた 私は
片方の眼でそれを見ればかりで
いつの間にか 歩みすぎてしまつてゐた……
いま とざされた 私の内に もどつてゐる
おまへは 私のかたはらに立つてゐる
私はおまへにたづねる……あの野を灌漑する
小川にかかつた石の橋や 咲きみだれてゐた紫の花のことを
私たちは いま たつたひとつの眼を持つてゐる
おまへの言葉は あの絵のなかで 川のほとりで
午前の光にみたされた 微風のようにやはらかい

(注) 原詩の題名と第一行は「くりひろげられた 広い 野原に」であるが、これを「野原」に改め、曲名とした。